

# EA733AH-10

(酸素・一酸化炭素濃度計)

## ◆特徴◆

- CO<sub>2</sub>とO<sub>2</sub>を同時検知・同時表示
- 4ヶ所のランプ、ブザー、バイブレーションで警報
- 積算濃度表示機能・ピーク値メモリ機能・ピークホールド機能搭載
- 厚さ22mm、重さ約75gの薄型・計量



検知対象ガス	酸素	一酸化炭素
検知原理	隔膜ガルバニ電池式	定電位電解式
ガス採気方法	拡散式	
検知範囲 (サービスレンジ)	0~25vol% (25~50vol%)	0~300ppm (300~2000ppm)
警報設定濃度	1段目 : 19.5vol% 2段目 : 18.0vol%	1段目 : 50ppm 2段目 : 150ppm 積算濃度 <sup>※4</sup> : 150ppm・h
応答時間(※1)	20秒以内	30秒以内
表示方法	液晶デジタル(手動バックライト)	
警報方式	ブザー鳴動、赤色ランプ点滅、液晶表示、振動	
付属機能	電池残量表示、ピークホールド機能、ピーク値メモリ機能、積算濃度表示機能 ガス警報以外の警報機能(積算濃度、センサ異常、電池残量、ゼロ調整不良)、ガス校正機能	
使用温湿度範囲	-10℃~40℃ : 30~90%RH以下 (結露なきこと)	
電源	単4形アルカリ乾電池×1本	
連続使用時間(※2)	約5000時間	
外形寸法	65(W)×22(D)×64(H)mm (突起物除く)	
重量	約75g(電池含む)	
標準付属品	単4形アルカリ乾電池×1本 安全ピンアダプタ×1個(取付ネジ付)	

※1...90%応答、周囲温度は20±2℃の状態

※2...環境状況、使用状況、保存期間、電池メーカーなどにより異なる場合があります。

※3...積算濃度はガス曝露時間(hr)とガス濃度(ppm)の積であらわします。

本器では、1分間平均濃度の積算値を60分で除して算出しています。

なお、時間計算は±5%程度の誤差を有しています。また、単位は便宜上"ppm"としています。

(例えばCO 30ppmを5時間連続曝露した場合は、30ppm×300/60=150ppm・hとなります。)

### ①LCD表示



### ②警報ランプ(4箇所)



### ⑤TxC/ガス校正スイッチ

## ピークホールド機能

③を一度押すと、画面に **PEAK** の表示がされ、その間のピーク値(最大値)を常に表示します。もう一度PEAKスイッチを押すと、通常的气体濃度表示に切り替わります。

## ピーク値メモリ機能

③と④を同時に押ししている間、画面に **PEAK** の表示が点滅し電源ONから現在までのピーク値(最大値)および経過時間を表示します。スイッチを離すと、通常的气体濃度表示に切り替わります。

## 積算濃度(T×C)表示機能<sup>※</sup>

⑤を押すと、**T**:ガスの曝露時間(hr)×**C**:CO濃度(ppm)で割り出した積算濃度を表示します。積算濃度が150ppm・h以上に達すると警報でお知らせします。  
※COのみ

◆次ページに酸素欠乏と一酸化炭素の◆  
◆人体に与える影響の表があります。◆

## 酸素欠乏の人体に与える影響

酸素濃度	酸素欠乏の危険性
21%	正常空気濃度
18%	安全限界
16%	呼吸脈拍増 頭痛、悪心、吐き気
12%	めまい、吐き気、筋力低下、つい落(死につながる)
10%	顔面蒼白意識不明、嘔吐(吐物が気管をふさぐ)
8%	昏睡(8分で死亡)
6%	呼吸停止、痙攣、死亡

## 一酸化炭素の人体に与える影響

CO含有率	人体の状況
100ppm	数時間の呼吸後でも目立った作用はない
200ppm	1.5時間後に軽度の頭痛を起こす
400～500ppm	1時間後に頭痛、吐き気、耳鳴り
600～1,000ppm	1～1.5時間後に意識を失う
1,500～2,000ppm	0.5～1時間にて頭痛、吐き気が激しく意識を失う
4,000ppm以上	短時間でも吸引すれば、生命危険